

暮らしに役立つ

西広島

医療情報

(65)

平成15年に施行された“健康増進法”や平成16年に日本も批准した“国際たばこ枠組み規制条約”などに基づき、公共施設での分煙や禁煙、未成年に対する喫煙防止強化などが必要な時代となっています。この度、佐伯地区医師会も喫煙に関する諸問題を取り組むため、佐伯地区医師会公衆衛生委員会禁煙推進部会を発足させました。

防煙教育、喫煙対策、禁煙支援を活動の三本柱として、地域社会に貢献できるよう努力してまいります。私は個人的に近隣の小学校を中心に防煙教

育を行ってきました。防煙教育とは、子ども達が辯論にタバコに手を出さないようになり、喫煙の有害性を早くから知つてもらい、次世代の喫煙率低下を目指すも

防煙・禁煙バックアップ！

のですから、防煙教育は個人がある時期行うだけでは

増えるようにすることです。そのためには地域や学

校、職場など社会のいろいろな場所で喫煙の有害性と禁煙の有用性を啓蒙してい

ます。そこで佐伯地区医師会の理解と協力のもと、個的に行っていた防煙教育

が、地域の人々が健康的に暮らせるように努力してまいります。

(廿日市市佐伯地区医師会 厚生連廣島総合病院 呼吸器外科・禁煙推進部 会渡 正伸)

希望があれば、医師会より専門家が出向き、出前講義を行ふことも活動の一つで

一ナード掲載。

た。また二つめの喫煙対策とは公共施設での完全分煙、完全禁煙などを求めていくことなどです。なかなか難しい課題ですが健康に関する専門家の立場から活動を行つてまいりたいと考えています。そして三つ目の禁煙支援とは、地域の人々に喫煙の有害性を早くから知つてもらい、次世代の喫煙率低下を目指すも

とも、禁煙する人々が

す。

昨今、禁煙希望者は薬剤による禁煙支援治療が保険適応で行える時代ですから、禁煙支援治療の実績や、禁煙支援治療が受けられる医療施設の情

報を医師会のホームページに掲載して地域の人々が情報を得やすいようにしていきます。禁煙推進部会がある医師会は全国的に見ても珍しく、新しい試みと言えます。先見的で実験的な試みですが、地域の人々が健康に暮らせるように努力してまいります。

※休日受付医院は4面「今週のお知らせ」コ